

12月定例会

# 市民の声と運動で要求前進へ 公立集会所の管理人制度存続 小学3年まで通院医療費無料に

宇治市議会12月定例会は、市長選挙があったため、12月27日開会、1月29日閉会の日程で行われました。市長選挙後の最初の議会であり、私たちは、市長選挙や市議補選、総選挙で訴えてきた公約の実現へ全力をあげました。市長選挙で争点となった子ども医療費助成の拡充について前進し、集会所管理人制度廃止などは先送りされることになりました。

## 公立集会所の廃止が延期

### 町内会との貸借契約はゼロ

宇治市は、2月8日の市民環境常任委員会に、昨年3月定例会で議決した「宇治市集会所条例を廃止する条例」の施行期限を定めず延期すると報告し、今年3月定例会に条例改正を提出しました。

宇治市は、「集会所再生プラン」で民間集会所に対して、新築や増改築の補助の率・金額の引き上げや耐震改修・水光熱費補助などを新たに実施するとしています。

### 民間集会所への補助の拡大を

宇治市は、「集会所再生プラン」で民間集会所に対して、新築や増改築の補助の率・金額の引き上げや耐震改修・水光熱費補助などを新たに実施するとしています。民間集会所への補助拡大を求めました。反対しましたが、自民・民主・公明などが賛成し可決されていきました。今回の市の決定は、住民の声を無視した公立集会所廃止プランが破綻したと言わざるを得ないものです。

## 子どもの通院医療費助成が拡充

### 9月から小学3年生まで

市は施行延期の理由として、「時間的な問題で合意形成や準備が整わない地域」「損害賠償を含む管理責任や費用の面で受け入れに

宇治市の子どもの医療費助成は、府南部で一番遅れ、多くの市民から拡充を求め

る請願・要望が繰り返され、議会にも出されてきました。党議員団も、小学校卒業までの無料化を求める条例を提案してきましたが、い

## 宇治川改修で、桜の木を伐採

### 塔の島の景観台無し



桜が伐採された橋島（今年1月）



桜が満開の橋島（昨年4月）

「宇治川・さくらまつり」の会場となる塔の島と橋島の桜が伐採されてしまいました。宇治川の流量を現在の900tから1500tに増やすため、国土交通省による宇治川の河床掘削工事や塔の島改修工事が行われています。国交省によると、塔の島は25%、橋島は35%も狭くなります。中の島公園では、毎年春には「さくらまつり」が行

われ、多くの観光客でにぎわい、市民の憩いの場ともなっています。145本あった桜が59本も伐採され、無残な姿になっています。（写真参照）

こうしたこと宇治市は「国が実施している再開発工事。中の島公園は京都府の管轄」という態度です。観光・景観を守ろうという姿勢に欠けていると言わざるを得ません。12月の市長選挙で、市民ネットの能塚たえこ候補が小学校卒業までの無料化を公約に掲げ奮闘するなど、拡充を求める市民の声が大きく広がる中、12月定例会で新市長は、小学校卒業までの無料化を求めた党議員への質問に、「来年度の予算編成で検討する」と答弁。25年度の予算に、9月から小学校3年生までの通院無料化が計上されました。

## 憲法改悪反対、TPP交渉参加阻止

日本共産党議員団



水谷 孝



宮本 繁夫



山崎 健一



坂本 ゆう子



渡辺 俊三



木沢 ひろこ

日本共産党  
宇治市議員団  
だより

2013.3

TEL 0774-22-3141  
(内線2817 市役所内)  
FAX 0774-24-7884  
Eメールアドレス  
jcpuji@leto.eonet.ne.jp



# 国保

## 24年度も実質5億4千万円の黒字

### 財源はあるのに引き下げせず

24年度の国保会計の決算見込みは、3億2833万円の大黒字で、4年連続の黒字です（別表参照）。

さらに基金に2億1500万円も「積み増し」していただきますから、実質収支の決算見込みは5億4千万円の黒字です。宇治市はこの間、黒字分を基金として「積み増し」し、24年度末の基金残高は5億9千万円になる見込みです。

# 学校

## 教室不足の解消を

### 施設整備を早期に

の暮らしの実態からかけ離れています。



# 原発

## 市長「国が決めるもの」

### 市民を守る姿勢示さず

原発事故は、起れば人類の総力をあげても手に負えません。日本で唯一稼働している大飯原発や活断層が敷地内を横切る敦賀原発など若狭湾の原発群は、宇治市民にとって深刻な脅威です。これまでの電力会社や国の安全だという調査報告が次々とつがえされ、安全な原発などないことが明らかになりました。国に原発廃止を求め、再び

## 人事監制度を廃止

人事監制度は、職員組合との交渉を分担するため市長直属の特別職として設置されたものです。法律上も疑義があり、総務省も「他に例がない」という異例の制度でしたが、新市長は、こうした経緯の検証もないまま廃止しました。

# 防災

## 災害寄付金は被災者に

### 党議員団らが要求

9月定例会で市民からの寄付金を1200万円と見込み、「床上浸水」以上の被災者に1〜10万円の見舞金を制度化しました。しかし、その後、市民の寄付が約2767万円（1月末）集まり、約1567万円が予算化されず3ヶ月も放置されました。

## ■国保会計は4年連続の黒字

(単位千円)

	歳入	歳出	差引
H19年度	16,521,775	16,648,161	▲126,386
H20年度	16,162,747	16,283,308	▲120,561
H21年度	17,121,508	16,567,361	554,147
H22年度	18,167,760	17,694,809	472,951
H23年度	19,048,650	18,617,056	431,594
H24年度	19,640,249	19,311,917	328,332

# バス

西小倉  
名木  
榎島

## バス路線10路線を全廃

### 3路線は短縮

大幅に路線短縮し1年間の実証実験を行い、その後、路線存続を検討することになりました。

これにより西小倉・名木、旧榎島・南落合地域ではバス空白地域となり、市民の足がなくなり、榎島地域ではNPOなどの協議会がコミュニティバスやデマ

「明星町線」「小倉線」は、

の取り組みができるように支援していきます。



## 自転車条例を制定

市議会建設水道常任委員会は、「宇治市自転車の安全な利用を促進する条例（案）」を策定し、本会議に提出し、可決されました。市議会の常任委員会が条例案を策定したのは、宇治市議会では初めてです。



# 請願

老朽校舎の改修や少人数学級の実現を求める「教育署名」が提出されました。

自民・民主・公明は請願内容の必要性を認めましたが、理由も示さず反対し、不採択となりました。

## 法律相談

毎月第一金曜日

無料

午後2時から

議員団控室

事前に議員にご連絡ください。